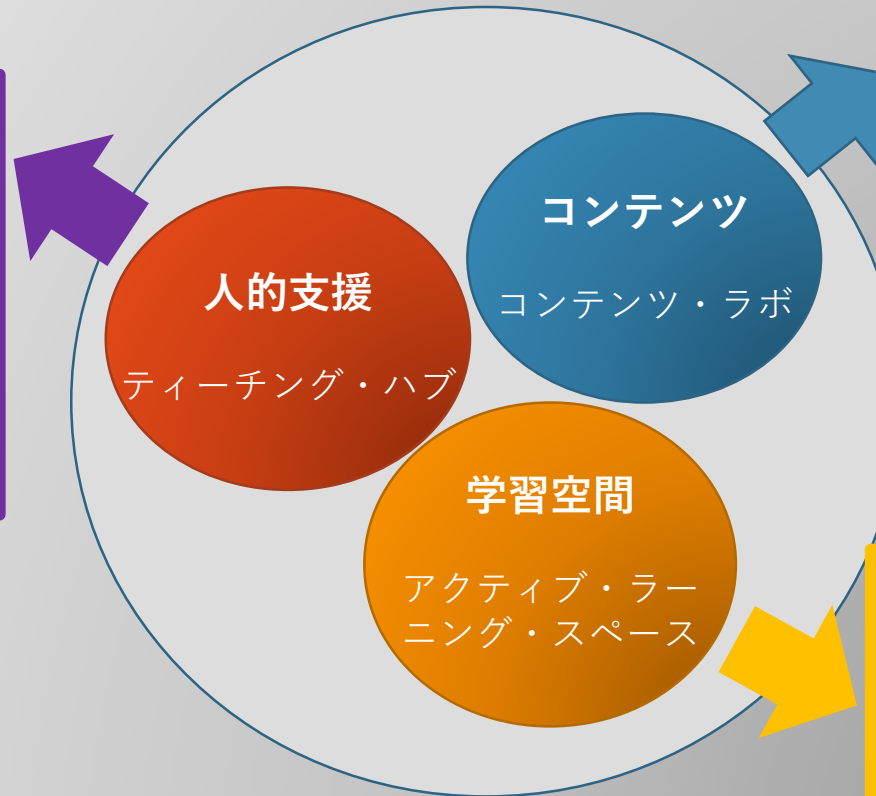


「考える学生の創造」から「深い専門性と俯瞰的思考力を備えた『知のプロフェッショナル』育成」へ

アカデミック・リンク基盤強化の方向性

高度な人的支援

- RLAの育成と配置
- 教育・学修支援専門職育成（教育関係共同利用拠点）
- SULAの能力向上
- 「教育・学修支援コース」との連携（人文社会科学研究科改組）



研究成果をダイレクトに教育に

- 研究成果や研究資源を教育にダイレクトに活用するための新しい知識循環基盤としての「デジタル・スカラシップ」

蛸壺的教育学習（研究）からの脱却

- 「リサーチコモンズ」による大学院共通（教養）教育を実施。同時に自由な知的交流の実現
- 亥鼻・松戸キャンパスのアクティブ・ラーニングスペース整備

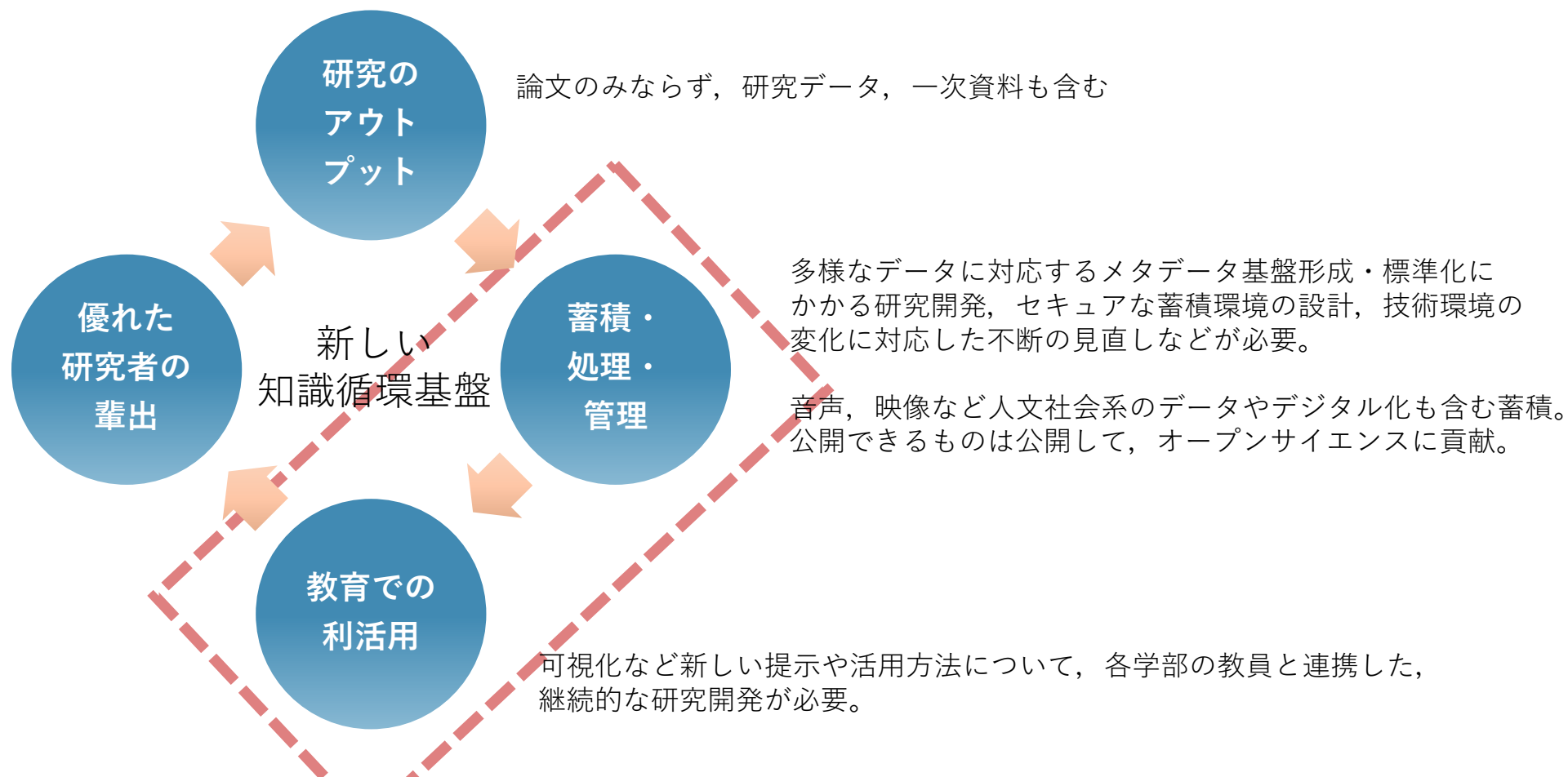
教育IRに基づくPDCAの実現

これらの活動を効率的に進めるため、教育IR機能と教育にかかるFD・SDの集約化

優れた研究成果をダイレクトに教育に

：知識基盤時代にふさわしい知識循環のための基盤（デジタル・スカラシップ）

デジタル・スカラシップとは、研究のエビデンス、探索手法、研究実践、成果公表、研究資源の保存など、研究及び学術的目的を達成するために必要な活動を全てデジタル基盤の上で行う、新しい教育研究基盤。特に学術コミュニケーションのデジタル化とデジタル・コンテンツ上での研究、教育、学習を実現するための支援に重点を置く。アカデミック・リンク・センターでは、教育での利活用に焦点を当てる。

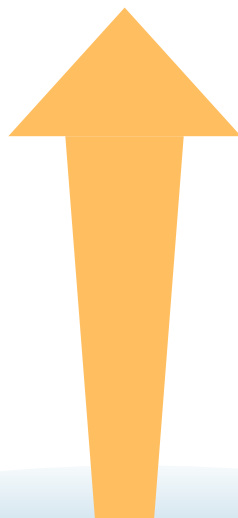


蛸壺的教育学習（研究）からの脱却

：俯瞰力育成と新しい発見，協働をもたらす学びの場（リサーチ・コモンズ）

分野横断的な大学院共通（教養）教育プログラムを展開するとともに，リサーチデザインなどにおいて文理混合・学際的なアプローチを可能とするオープンな知的交流のための新しい教育学習（研究）の場を提供することで，かねてより批判の強い蛸壺的研究（教育学習）から脱却し，俯瞰力，倫理性，教育力と広がりを持った高度な専門性を兼ね備えた人材を輩出し，今日の社会において求められているイノベーション人材の育成に貢献する。

広がりを持った高度な専門性



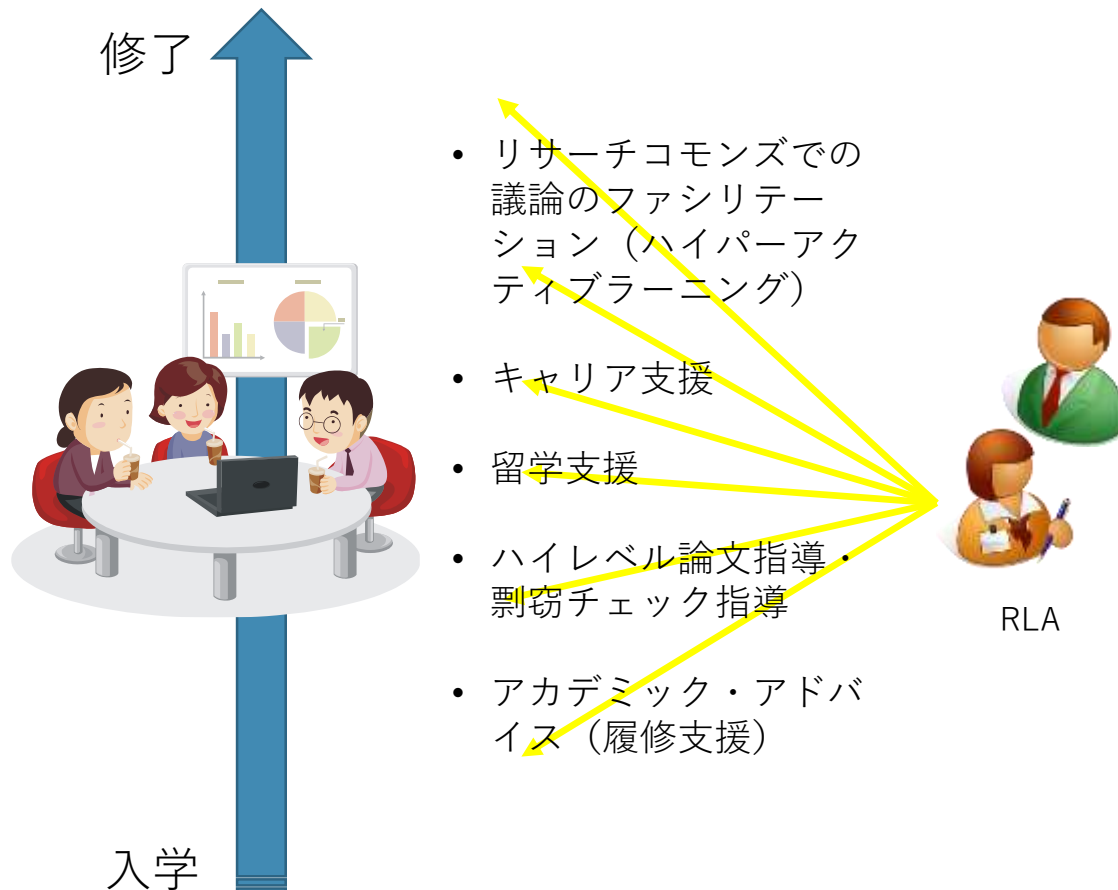
俯瞰力・倫理性・教育力

- オープンな知的交流の場の提供
 - 異分野交流を促進するスペースとプログラムを提供
- プレFDプログラムの提供
 - ティーチング・フェロー制度の実現
 - PBLやアクティブラーニング技法の習得
 - 電子教材作成や学生の理解を促すプログラムの提供

高度な人的支援

：大学院レベルの学習研究を支える高度な支援人材（RLA）

大学院レベルの学習研究を支援する新たな人材を提供することで、従来の研究室に閉じた人間関係に基づく指導体制のみならず、多角的な観点からの多様な領域での学習支援を、個々の学生のニーズに沿う形で組織的に実現する。



RLAの養成と配置

（Research Learning Advisor for graduate students）

- 大学院修了レベルの人材。学部レベルの支援を行うSULAとは異なり、ある程度のまとまりを持つ専門領域ごとに配置。（SULA=Super University Learning Administrator）
- アカデミック・アドバイス、留学支援、論文執筆支援、キャリア支援など、大学院での学習（研究）の進捗状況に合わせて、個々の学生のニーズに即したテラーメイドな支援を実施。

大学院教育を支える基盤としてのアカデミック・リンク

アカデミック・リンク・センターは、全学的な教育・学習基盤を提供することで大学院教育の質的向上を実現する。また教育IRを機能させることで、PDCAサイクルを実現し、研究開発に基づいて継続的な革新を実行する。

